



吉原美智恵議員

指定管理施設の点検は

指導を徹底していく

問 現在、大山町では、

数多くの「公の施設」が

指定管理となっている。

この制度の中で、管理
が適切に行われているか、
利用者に対するサービスの
向上や、維持管理費の
削減がなされているか等
見直す機会を設けるため、
委託期間の指定がされて

いる。

「公の施設」は何のため
に、また誰のためにあ
るのか問い直し、その責
任者として、多様化する
住民のニーズにどのよう
に対応していくのか。

また、苦情等について
の対処はどのように行っ
ていくのか。

答 (山口町長)

各施設において、管理
委託はしているが、全て
町の公の施設であり、最
終的な責任は当然、町に
あると考えている。

また、住民の福利厚生
のためにある施設だと認
識している。

町民の皆さんが満足し
て利用して頂けるよう、
管理者への指導を徹底し
ていかなければならない
と思っっている。

実際に皆さんが利用さ
れるうえでのご意見とか、
課題があれば、直接行政
に届けて頂きたい。

また苦情については、
モニタリングチェックシ
ートで各項目ごとにチェ
ックしている。

特に改めてもらいたい
部分については、改善命
令を出して対処している。



指定管理施設 大山野球場

香取分校を歴史館に

地元と協議していく

問 大山学講座で「香取

開拓村の歴史」という、
香取在住の大林さんの講
義を聴く機会を得た。

満州引き揚げから今日
に至るまでの、苦難の歴
史の生き証人の魂を揺さ
ぶられるようなお話で、
感動の連続であった。

是非、閉校となる香取
分校を残し、その歴史を
後世に伝えてはどうか。

答 (小原教育委員長)

歴史を後世に残すため、
町誌等でまとめている。
校舎は老朽化等、難しい
問題はあるが、活用の仕
方や、保存の方法を関係
者と協議しながら、考え
ていきたい。

コミュニケーション
授業の取り組みは

成果を検証し進めていく

問 今日、地域社会は大

きく様変わりし、気づき
の体験学習が一層、必要
とされてきている。

今年度、赤ちゃんふれ
あい授業が大山中学校で

実施され、コミュニケー
ション授業の一步が踏み
出されたと思っっている。

この授業を通して、生
徒のアンケートによると、
「命の大切さ」「役立ち感」
「自己肯定感」等、実感さ
れ、大きな成果があがつ
ている。

大山町内すべての学校
で実施できないか。

答 (小原教育委員長)

体験の重要性は認識し
ている。

大山中学校では継続す
るが、他校においては、
現時点では、取り組みの
成果を検証し、生かせる
ところは生かしていく。



閉校となった香取分校